



令和6年度における観光振興の取組状況について

福岡県商工部観光局観光政策課

令和6年11月11日



	観光振興指針における 施策の柱	令和 6 年度における 主な施策
県主体事業	1 受入環境の充実	・多言語翻訳機の設置による旅行動向の分析 ・ユニバーサルデザインタクシーの導入支援 ・宿泊業の生産性向上支援
	2 観光資源の魅力向上	・新たな観光地域づくりの推進 ・サイクル・トレイルツーリズムの推進
	3 戦略的なプロモーション	・福岡・大分 D C の開催（別紙参照） ・観光客の県内周遊・宿泊を促進 ・国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施 ・伝統工芸品ファン獲得・販路拡大 ・県内周遊バス旅行商品「よかバス」
	4 観光振興の体制強化	・観光業の人材育成・雇用促進 ・観光ビッグデータを活用した旅行実態の把握
	5 市町村への財政的支援	・福岡県宿泊税交付金の交付

1 受入環境の充実

■ 多言語翻訳機の設置による旅行動向の分析

- ・福岡空港国際線、博多駅の観光案内所に多言語翻訳機を設置し、多様な言語での対応を可能にするとともに、会話ログデータから旅行者のニーズや最新トレンドを把握・分析

【実施時期】

令和6年6月28日（金）～令和7年3月31日（月）

【分析内容（想定）】

- ・使用言語、季節、時間帯別による傾向分析
- ・使用言語、季節、時間帯別による頻出キーワード・新たなトレンド分析

※3月頃、県内市町村や観光案内所等へデータ分析結果を報告



観光案内所窓口での対応イメージ

■ ユニバーサルデザインタクシーの導入支援

- ・国内外からの旅行者を含め、福岡県でタクシーを利用するすべての人が安心して円滑に移動できる環境を目指し、タクシーのバリアフリー化に対する助成を実施

【対象者】 タクシー事業者及びリース事業者

【対象経費】車両本体価格

【補助率等】1／3（※補助上限額60万円／台）

【申込状況】165台（R6.10.31時点）



【ユニバーサルデザインタクシー】

令和6年度における主な観光局事業について _②

■ 宿泊業における生産性向上の取組みを支援(継続)

① 宿泊業専門アドバイザー等による課題整理及び解決に向けた個別経営支援

- ・「福岡県中小企業生産性向上支援センター」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置。
- ・宿泊専門のアドバイザー（4名）を配置し、今後の観光需要回復期における需要を確実に取り込むため、業務効率化などの現場の改善だけでなく、サービスの向上や新事業展開といった売上向上に関する支援も実施。

申込件数：30件（R6.9.30時点）

② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援

【対象】 上記①のアドバイザーによる支援を経て課題解決に取り組む中小宿泊事業者が実施する生産性向上に資する設備導入等に対し補助。

【補助率等】 補助率：1/2、補助上限額：300万円

申請件数：15件（R6.9.30時点）

2 観光資源の魅力向上

■ 新たな観光地域づくりの推進

- ・ 県内6エリアの周遊を促進する情報発信拠点の整備を支援

広域観光エリアを来訪した観光客向けにエリア内の情報提供及び周遊を促進するため、各エリアの総合窓口となる中核拠点を選定し、テーマを打ち出した情報発信拠点を整備

■ 広域観光エリア情報発信拠点の整備候補地

エリア	筑前玄海		八女・筑後・広川	飯塚・嘉麻・桂川	京築		久留米・うきは・朝倉		日田彦山線沿線	
市町村	宗像市	岡垣町	八女市	飯塚市	行橋市	みやこ町	朝倉市	うきは市	東峰村	添田町
設置場所	道の駅むなかた	りんりんクラブ岡垣	茶のくに観光案内所	カホテラス	長井浜公園クラブハウス	国府の郷	道の駅原鶴	道の駅うきは	道の駅小石原	歓遊舎ひこさん

【6エリア概要】県内6地域に、複数市町村で構成する“広域観光エリア”を設定。エリア内の市町村、観光協会、商工会議所・商工会をメンバーとする「新たな観光地域づくり検討会」においてエリアのテーマを設定し、体験プログラムの開発、食の新メニュー開発等を実施。

エリア	エリアを構成する市町村	テーマ / 主な取組内容
筑前玄海エリア	宗像市、古賀市、福津市、芦屋町、岡垣町	「イカのまち」／多様なイカの食メニューの開発、フェアの開催
八女・筑後・広川エリア	八女市、筑後市、広川町	「クラフトのまち」／職人の情報一元化、職人との対話を取り入れた体験プログラム造成、長期滞在・再来訪を増やすための取組
飯塚・嘉麻・桂川エリア	飯塚市、嘉麻市、桂川町	「エネルギーの源があるまち」／アウトドアアクティビティと食（和牛、ホルモン、卵等たんぱく質を中心に）のコンテンツの充実
京築エリア	行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町	「神楽の里 鬼すごい京築」／「鬼」を強調後の意味で使用し、インスタ映えのスポットのプロモーション、メニュー開発等に展開
久留米・うきは・朝倉エリア	久留米市、うきは市、朝倉市	「ヘルス&ビューティーのまち」／温泉、フルーツ、ハーブ、きれいな水などを切り口にした旅行商品を造成、資生堂工場見学者の滞在を促す
日田彦山線沿線エリア	東峰村、添田町	「ものづくりと修験の文化」／令和5年夏の開業を予定しているBRT開通時における観光プロモーションを視野に、観光資源開発・旅行商品造成等を推進

■ サイクル・トレイルツーリズムを推進

① 豪州・韓国・台湾からのサイクリスト誘客促進

【概要】 これまでに取り組んできた台湾からのサイクリスト誘客に加え、新たに豪州・韓国からのサイクリスト誘客促進のため、旅行商品の造成やプロモーションを実施

【実績】 (台湾) 北九州サイクルフェスの参加など、83名誘客見込み
(豪州) 7月にファミトリップ実施。現地旅行社等と商談中
(韓国) 10月にファミトリップ実施。現地旅行社等と商談中



【豪州旅行会社ファミトリップ】

② 地域のサイクリングイベントの多言語化を支援

【概要】

国外のサイクリストの本県への誘客促進のため、大規模サイクリングイベントの多言語化を支援

※ 補助率 1 / 2、上限 1, 0 0 0 万円

③ 「FUKUOKAサイクリングツアーコンシェルジュ」開設

【概要】

県推奨ルートの設定やサイクリングガイドの育成等、国内外からサイクリストを誘客するための取り組みを活かし、旅行会社等のサイクリングツアー造成をワンストップで支援（10月10日開始）

■ 支援内容 レンタサイクルやサイクリングガイドの手配、ニーズに応じたルート設定・プランづくりなど

■ レンタサイクルやサイクリングガイドの手配などができるシステムを令和7年1月に運用開始予定



特設サイト

3 戦略的なプロモーション

■ 県内周遊バス旅行商品「よかバス」の開始



【よかバスロゴマーク】

【概要】

- ・県内周遊バス旅行商品サイト「よかバス」を開設し、バス旅行商品を造成する県内旅行会社を支援
- ・令和7年度の関西・大阪万博に向け、インバウンド向け「よかバス」商品の開発及びプロモーションを実施

【ツアー催行数】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	年計
令和5年度	172	145	272	183	772
令和6年度	219	160	—	—	—
うち6エリア	173	78	—	—	—
前年比	127.3%	110.3%	—	—	—

【バス旅行商品造成支援】

【対象】 県が指定する6エリアの観光素材2つ以上、又は「西の都」の観光素材3つ以上を行程に含むバスツアー

【助成額】 日帰り 5万円、宿泊 10万円

【実績（R6.9月末現在）】 253件

【インバウンド向け商品開発】

【事業概要】 「よかバス」参画旅行会社及び県内観光地の多言語化支援、アドバイザー派遣、モニターツアーの実施

【プロモーション】

【国内】 TVCM、Web広告、SNSキャンペーンなど各種メディアを活用

【海外】 海外OTAサイトへの特設ページ開設、インフルエンサー（英・仏・米・豪）を活用したプロモーションの実施等

■ 観光客の県内周遊・宿泊を促進(継続)

・閑散期の平日における宿泊助成

閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため
閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市を除く）への宿泊者に対し割引支援を実施

- ・期 間：2024年12月～2025年2月（予定） ※年末年始を除く
- ・対象事業者：県内宿泊施設（政令市を除く）、旅行会社 ※事前登録制
- ・割引率：宿泊・旅行代金の総額20%（1人1泊あたり最大3千円）



■ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施

① 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進

(英国)

- ・現地日系旅行会社と連携し、本県の観光誘客窓口を設置
- ・知事、県議会が参画したロンドン・パリ訪問団の派遣に合わせ、
本県の食・観光をPRする観光セミナー・交流会を開催

【日 時】令和6年5月24日

【参加者数】現地旅行会社、メディア、インフルエンサー等 約80名



【観光セミナーでPRする知事】



【交流会の様子】

① 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進

(仏国)

- ・在日インフルエンサーを活用し、本県の歴史・文化や伝統工芸等の魅力を発信
- ・現地日系旅行会社と連携し、本県の観光誘客窓口を設置
- ・世界的なグルメ情報サイト「ラ・リスト」国内授賞式において、知事から本県の「食」等の魅力を発信

【日時】令和6年10月23日

【参加者数】国内外のトップシェフやメディア、ホテル支配人等250名

【概要】「食と観光」をテーマに、八女茶、福岡の食、県産酒、観光・物産をPRする福岡県ブースを出展

(米国)

- ・久留米絣工房との協力のもと、タビマエ・タビアトのオンライン講座と実地での体験を組み合わせたクラフトツーリズム商品を開発
- ・現地日系旅行会社と連携し、本県の観光誘客窓口を設置



【博多の人力車を紹介する様子】



【八女茶をPRする知事】



【久留米絣工房での実地体験】

① 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進

(豪州)

- ・現地日系旅行会社と連携し、本県の観光誘客窓口を設置
- ・豪州からの訪日教育旅行を誘致するため、現地学校関係者等7名を招請したファムトリップを実施



【豪州学校関係者ファムトリップ】

② 台湾・香港・韓国のインフルエンサーを活用した広域観光エリア動画の配信

- ・対象国で人気のある在日インフルエンサーを活用し、県内6つの広域観光エリア動画を配信

【配信本数】各国・地域 年間12本



【台湾】



【香港】



【韓国】

③ タイ・バンコク都における観光プロモーション及び現地旅行会社向け商談会の開催

- ・バンコク都で実施する「福岡フェア」に観光PRブースを出展するとともに、現地旅行会社向けの観光セミナー、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会を開催

【実施期間】(福岡フェア) 令和6年11月21日～24日 (観光セミナー・商談会) 11月21日

【参加者】現地旅行会社等36社程度、県内観光事業者12社

■ 伝統工芸品ファン獲得・販路拡大

① 「福岡伝統工芸ファンクラブ」創設

・県内の伝統工芸品のファン獲得・産地活性化を目的に、Instagramアカウント「福岡伝統工芸ファンクラブ【公式】」を創設。伝統工芸品産地の紹介及びイベント情報の発信を行うとともに、Instagramアカウントのフォロワーを対象に、生産者と交流する特別感のある産地訪問ツアーを実施。

【フォロワー実績】 903フォロワー（R6.10.30時点）

【ツアー開催予定】 各回20名の参加者を募集

ツアー実施時期	ツアー訪問産地
R6.12.7	博多織・博多人形
R7.1.18	久留米絣・八女地域の伝統工芸品
R7.1.19	小石原焼・上野焼
R7.1.26	芦屋釜・小倉織



【Instagramへの投稿写真】

② フランス・パリにおける伝統工芸品のテストマーケティングの実施

・福岡県の伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、欧州でも特に伝統的な日本文化への関心が高いとされるフランスのパリにおいて、テストマーケティングを実施

【開催時期】リアル店舗 令和6年9月19日から10月19日

ECサイト 令和6年10月22日から11月21日

【開催店舗】「Maison Wa（1号店）」

【参加事業者数】13事業者（小石原焼、上野焼、高取焼、博多織、小倉織、掛川）

【リアル店舗の売上（ECサイトは現在集計中）】約96万円



（Maison Wa 1号店）

4 観光振興の体制強化

■ 観光業の人材育成・雇用促進

① 宿泊業の人材不足解消に向けたインターンシップの導入支援、合同会社説明会の実施

・人材不足が深刻化する宿泊業への雇用を促進するため、インターンシップの導入支援や、県内外の学生・転職希望者を対象とした合同会社説明会を開催

＜事業者向け人材確保支援セミナー＞

【実施回数】 4回（福岡・北九州・筑豊・筑後）

【参加者数】 56名（うちオンライン18名）

＜インターンシップマッチングイベント＞

【実施回数】 2回（福岡・北九州）

【参加者数】 23社、97名

＜合同会社説明会＞

【実施回数】 3回（予定）（東京・福岡・オンライン）

【参加者数】 13社、41名（東京のみ、福岡は2月、オンラインは12月に開催予定）



合同会社説明会の様子

② 地域観光のリーダーを育成

・地域の観光振興を担う中核人材の育成の推進を目的に、九州産業大学が実施する「観光地経営リーダー育成プログラム」の受講料の全額を助成

【実施期間】

令和6年8月31日（土）～11月9日（土）

【助成人数（予定）】

19名



リーフレット

③ 宿泊施設従業員を対象としたおもてなし研修の実施

【目的】

県内宿泊施設におけるおもてなし力を磨くため、宿泊施設従業員を対象とした研修を実施することで、本県に来訪する観光客の満足度向上を図る。

【実施回数】

会場参加：県内4地域2日間×4回

オンライン参加：2日間×5回

【内容】

1日目：お客様対応基礎カマスター研修

2日目：クレーム対応研修

【参加者数（R6.10.31時点）】

のべ180名



研修会の様子

■ 観光ビッグデータを活用した旅行実態の把握

- ・金融機関のカード決済データを活用し、外国人観光客の国別、業種別の消費動向を調査
※事業者と仕様、アウトプット等について協議中